

2003年9月9日

各位

ニチメン株式会社

(資料)「首都圏における小型スーパーマーケット事業展開について」

目的

ニチメンは(株)カウボーイ(本社:札幌市)、シンポ(株)(本社:名古屋市)と合併でスーパーマーケット経営会社を設立、首都圏、特に都心部を中心とした小型食品スーパー事業を展開する。

新しい事業モデルとして、4~5年後にIPOを行う。

背景

大都市中心部は、この10年で再開発が進み、居住人口の増加が進んでいる(都心回帰)。それに伴い、徒歩圏での食品・生活雑貨購入の必要性が高まっている。

一方、店舗側の状況としては、個人商店は後継者難により閉店が進んでおり、デパート地下食料品売場(デパ地下)は高価格、遠距離という難点がある。又、既存スーパーマーケットの売場規模では、コスト高と物件不足の為、新規進出が困難と言える。我社はこのタイミングを捉え、首都圏における食品販売に集中した小型食品スーパーマーケットの展開を行う。

新会社の概要

新会社名 : (株)エヌエムボーイ

所在地 : 東京都港区芝大門2-12-9 浜松町矢崎ホワイトビル7F

資本金 : 200百万円

事業内容 : 首都圏における小型食品スーパーマーケットの展開及び運営

株主構成(出資比率) : ニチメン(株) 40%
(株)カウボーイ 55%
シンポ(株) 5%

役員構成 : 代表取締役社長(常勤) ニチメン
代表取締役専務(常勤) カウボーイ
他

数値目標

店舗数 : 初年度 3 店舗、5 年目までに 37 店舗。(6 年目までに 50 店舗)

売上高 : 初年度約 20 億円/年、5 年後には約 400 億円/年。

コンセプト

- * 売場面積は 80 ~ 100 坪。
- * 生鮮 3 品 (青果、精肉、鮮魚)、日用品、惣菜を主力とする。
- * 価格帯は、大手 GSM より 15 ~ 20%、食品専門 SM チェーンより 5 ~ 10% 安くする。
- * 都心部の新生活圏への出店。
- * 夕方から夜間を主販売時間とした、個食対応商品の品揃えを重視する。
- * 中食に対応した、半加工品・加工品・惣菜・弁当の品揃えを厚くする。

パートナーの概要と役割

ニチメン (株)

店舗開発業務、海外製品の販売、財務管理を行う。

(株)カウボーイ (JASDAQ 上場)

札幌に本社を持ち、道内を中心に現在 12 店舗の郊外型大型ディスカウント店、飲食店 4 店、ボーリング場等を経営。

今回のプロジェクトでは、店舗運営全般を担当する。

シンボ (株) (JASDAQ 上場)

名古屋に本社を持つ、焼肉レストラン用無煙ロースター製造・販売の最大手。

今回のプロジェクトでは、(プレハブ型)店舗の開発の技術的な面の総元受。

今後の予定

9 月 9 日 合併会社登記完了

11 月中旬 第 1 号店オープン

以上。